

暖地向きバレイショ新品種候補系統「西海28号」						
[要約] バレイショ「西海28号」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つとともに、 <u>そうか病</u> にもやや強い、 <u>暖地二期作栽培</u> に適した食用系統である。滑皮で目が浅くて <u>外観</u> に優れ、食味が良い。						
総合農林試験場・愛野馬鈴薯支場・育種栽培科	専門	育種	対象	いも類	分類	普及
資料名：平成6～10年度ばれいしょ試験成績書、新品種決定に関する参考成績書、他						

[背景・ねらい]

平成4年に発生が確認されたジャガイモシストセンチュウは、年々発生地域を拡大し、産地の維持にとって重要な問題となっている。汚染地域の拡大防止には抵抗性品種の栽培が有効であるが、本県の主要品種である「デジマ」、「ニシユタカ」、「メ-クイン」には本線虫に対して抵抗性がない。このため、ジャガイモシストセンチュウに対して抵抗性を有する高品質、多収品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 「西海28号」は、1994年春作において、そうか病に強い「T8973-20」を母、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、早生型で塊茎の早期肥大性に優れる「普賢丸」を父として交配し、翌年から育成・選抜してきた系統である。
2. 地上部の生育では、出芽期は春作において「デジマ」より3～4日早く、秋作は同等、初期生育は良好である。茎長は短く、早晚性は「デジマ」より早い中早生である(表1)。
3. 上いも重(収量)は、春作普通栽培では「デジマ」より多いが、春作マルチ栽培と秋作普通栽培では少ない。春・秋作とも「デジマ」より1株当たりの上いも数は多く、上いも1個重は軽い、個数型である(表1)。
4. 塊茎の皮色は白黄色、形は短楕円形、滑皮で目が浅く、外観に優れる(表2)。
5. 肉色は黄白～淡黄で「デジマ」よりやや黄色味が強く、肉質は中～やや粉質、食味は「デジマ」並に良い(表2)。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有するとともに、そうか病にもやや強い(表3)。

[成果の活用面・留意点]

1. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有するので、本系統を栽培することにより同線虫密度が低下する。
2. 個数型で1個重が軽いので、齢の進んだ種いもの使用や極端な密植は避ける。
3. 疫病や青枯病には弱いので、健全な種いもの使用と、基本的防除を実施する。

[具体的デ - タ]

表 1 生育・収量調査成績（愛野馬鈴薯支場生産力検定試験成績）

作型	品 種 系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本/株)	上いも 数 (個/株)	上いも 1個重 (g)	上いも 重 (kg/a)	対標 比 (%)	澱粉価 (%)
春作普通	西海28号	4.07	48	1.4	6.4	109	435	117	10.1
	デジマ	4.11	85	1.1	4.3	140	372	100	10.3
	ニシタカ	4.11	62	1.4	5.1	137	433	116	10.1
春作マルチ	西海28号	3.19	41	1.6	6.6	103	425	94	11.9
	デジマ	3.20	66	1.4	4.9	148	453	100	12.2
	ニシタカ	3.22	51	1.5	5.4	145	489	108	11.6
秋作普通	西海28号	9.24	41	3.5	5.3	85	277	85	11.7
	デジマ	9.24	52	4.0	4.8	111	326	100	12.7
	ニシタカ	9.26	45	2.9	4.2	115	305	93	11.7

注) 春作は平10～13年、秋作は平9～13年の平均値

表 2 いもの形質（春作普通栽培）

品 種 系統名	いも着 疎密	皮色	形	目の 深浅	肌の 粗滑	外観	肉色	肉質	食味
西海28号	中-やや疎	白黄	短楕円	浅	滑	やや良-良	黄白-淡黄	中-やや粉	中-やや良
デジマ	疎-やや疎	白黄	扁球	やや浅	やや滑	中-やや良	黄白	中-やや粉	中-やや良
ニシタカ	中	白黄	扁球	やや浅	中	中-やや良	黄白	中	中-やや不良

表 3 病虫害抵抗性

品 種 系統名	ジャガ イ シトセンチュウ	そうか病	青枯病	疫病	粉状 そうか病	Yウイルス病
西海28号	強 (H ₁)	やや強	やや弱	弱	弱	中
デジマ	弱 (h)	やや弱	やや弱	弱	やや弱	中
ニシタカ	弱 (h)	弱	中	中	弱	中

[その他]

研究課題名：ばれいしょの新品種育成

予算区分：国庫（指定試験）

研究期間：平成13年度（平成6～13年度）

研究担当者：中尾 敬、向島信洋、森 一幸、石橋祐二、茶谷正孝、森 元幸

既発表論文等：中尾ら(2002)九農研63：（印刷中）